

泉のほとり

●三位一体後第五主日

今月の詩編「第三十四編」

味わい、見よ、主の恵み深さを。

いかに幸いなことか、

御もとに身を寄せる人は。



サタンに操られやすい人

長い間、共に過ごし、そばにるようにされた弟子の一人が、最後まで自分を改めることなく、キリストを裏切る。その行く末が永遠に取り返しつけないものだからこそ、主イエスはその弟子のために心を騒がせられました。そして言われました。「あなたがたのうちの一人がわたしを裏切ろうとしている」と。

ヨハネは主に寄りかかって「主よ、それはだれのことですか」と聞きました。「わたしはパン切れを浸して与えるのがその人だ」と答えられ、主がパン切れを浸し、ユダにお渡しになると、それを受け取ったユダにサタンが入り、すぐその場から出て行きました。

悪魔がユダに「裏切る思いを入れた」とある内容に続き、「サタンがユダの中に入った」と記されています。「サタンが入った」というのは「思いを入れた」より強い表現です。「思いを入れる」を超え、サタンと一体となった。サタンが人の中に入って住み着くほど、その人の思いがサタンと一体となっていることと思われまます。

サタンの働きが厄介で手強いのは自覚できないところにあります。そのそのかす声は「思いを入れる」ということです。耳で聞こえてくるわけではありません。サタンが入ったのも同様です。ユダ自身、自分はサタンの思いを受け入れたとか、自分は悪魔に取りつかれているとの自覚は全くなく、悪魔が私の背後にあるなどと微塵も思っていないのです。それほど悪魔と同じ思い、同じ性質ゆえに、悪魔が中に入って住み着いても、気づかない状態です。

今日、こういう悪しき存在の働きがあまり知らされることもなく、語ることも教えることもない時代になってきたのではないかと思います。悪魔の存在を話すこと自体、幼稚な話であるかのような風潮もなくはないと思います。時代がそうなってきたのも悪しき働き手によるものと強く思うのです。使徒パウロはコリント第二の2章で「サタンにつけ込まれな

いように」と注意を促しつつ、「私はサタンのやり口を心得ている」とも述べています。使徒ペテロも「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、誰かを食い尽くそうと探し回っています」と忠告しているのです。サタンの存在についても全く無自覚なこの時代だからこそ、使徒たちの信仰を継承する教会として使徒たちが警戒し、対抗した悪しき働きへの分別がなくてはなりません。

何よりも、心得ていきたいのは、ご自身を惜しみなく与えられるキリストの愛、その聖なる性質を持つものに、サタンの働きは全く無力であることです。どんなにそのかしても、神を恐れ、人を愛するその純真な心はずみかず、誘惑されないのです。

ユダがサタンにそのかされ、誘惑に陥ったのは、金銭を愛したからでした。この世の欲望に目が眩み、キリストを裏切ったのでした。これまで「二心」で主についてきました。その悪しき、汚れた心に乗じて、サタンはユダを動かしたのです。自分と同じ性質のユダの心は、サタンには全く無防備の状態、自由に入ってくるようにと、自ら門を開けっぱなしにしていた状態だったのです。

私たちは「誘惑に陥らず、悪からお救いください」と祈っています。今もサタンは人のあらゆる不従順につけ込んで働いています。誘惑に陥らぬよう、目を覚まして、何が神の御前で汚れたものか、何がよく聖なるものであるか、御心になうことかを分別して行きたい。そして、足を洗ってもらい、きよくされた初めの心を保ち、主が教えてくださった十字架のことばから離れず、したがって生きる。そのキリストの聖さを求めて生きるからこそ、私たちの祈り、また悪魔に對抗する最大の砦、城壁です。

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

《今日のお知らせ》

○ 本日は特別な集会はありません。

《ぶどうの会より》

○ 礼拝後、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

《ロビーの会より》

○ 礼拝後、ロビーでコーヒーの販売を行います。
お菓子付きで値段は七〇円です。お手持ちのコーヒーサービス券もご使用いただけます。どうぞお買い求めください。

《今後の予定》

- 七月七日 信仰者たちに学ぶ会
- 七月一〇日〜一二日 附属幼稚園奥多摩キャンプ
- 七月二四日 諸聖徒記念礼拝
- 七月二一日 定例役員会

《ルツの会より》

○ 本日の礼拝終了後、一五分後を目途にカナルームでルツの会を行います。聖書箇所は出エジプト記二章、テーマは「イスラエルをかえりみる神さま」です。時間は四〇分程度を予定しています。初めての方も歓迎します。聖書、讃美歌をお持ちの上、どうぞご参加ください。

《ジュネーブ教会信仰問答》

第八聖日後半

使徒信条「ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け」

に関して

問五四ではどのようにして、われわれの主でいますのですか。

答 神の支配と主権を天にも地にも行ない、イエスがみ使たちや信徒たちのかしらとなるために、彼がわれわれをその支配下におくように父によって定められなされたからであります。

問五五 なぜ誕生から、彼の生涯の全経歴を略して、直ちに死に進むのですか。

答 ここでは特に、われわれの贖罪の本質に属することしか話されていないからであります。

問五六何ゆえただ一言、彼は死なれたといわないで、ポンテオ・ピラトについて言及し、この人の下で苦しみをお受けになったといわれているのですか。

答 それは単に、この歴史の確かさをわれわれに証しするためばかりでなく、さらにまた、彼の死が刑罰をとり去ることを示すためであります。

外山八郎訳（新教出版社1979年）使用

問五七 それはどうしてですか。

答 われわれの負うべき罰を忍び受けるため、そしてこのことによつてわれわれを罰から救い出すために死なれたのであります。なぜならば、われわれは神の審判の前に、悪をなしたもものとして有罪でありましたので、われわれの人格を代理するために、彼は地上の裁判官の法廷に出頭することを望まれ、また天の審判のみ座においてわれわれを赦すために、この男の口から、有罪の宣告をうけることを望まれたのであります。

問五八けれども、ピラトは彼に、無罪を宣告し、あたかもそれに値するかのように、有罪の宣告を下すことはしませんでした。

答 それは両方とも事実であります。それは、彼が苦しみを受けたのは少しも彼の落度のゆえではなく、われわれの落ち度のゆえであることを明らかにするために、この裁判官の証言によつて無罪の証明をうけられたことといけれどもまた、われわれを放すためにわれわれに代つて有罪の宣告をうけて、われわれの真の保証人であることを示す目的で、この同一人の宣告によつて莊重に有罪の判決をうけられたことでもあります。

問五九よくいえました。もしも彼が罪人であつたらば、他の人々のために死刑を受けることはできなかつたでありましょう。けれどもまた、彼の有罪判決がわれわれにとつて釈放となるために、彼は不義なる者どものひとりとなされねばならないのです。その通りに考えます。

《今日の子ども礼拝》

説教 「憎しみを超えて」

聖書 創世記42章6〜17節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「この方はどなたなのか」

聖書 マルコ4章35〜41節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

●主日礼拝（午前10時30分）

讃美歌 7番 507番

説教 「神を欺いたアナニアとサファイラ」

聖書 使徒5章1〜11節

説教者 宮間彰広 兄





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 73番 537番
説教 「互いに愛し合いなさい」
聖書 ヨハネ13章31節～38節(新約 P.195)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「いと高きにある神にのみ栄光あれ」J.ハッセルベル

○讃美歌73番

- くすしきかみ、たえなる主よ かいなきわれにも
くだしたまえ 主のみたまを あふるるばかりに
あたえたまえ 主をたたうる うたごころを
- あおき空よ、つくりぬしの みいつをあらわせ
かがやく日よ、主なるみかみの みさかえ示せや
つきよ ほしよ こえをあわせ み名をほめよ
- かみを知れる ひとの子ら すくいをたたえよ
主をあいする あまつたみよ み代をばことほげ
とわにいます 主なるかみに みさかえあれ

アーメン

○聖歌隊による讃美

「主の家に行こうと」 デイヴ & J.パーリー 作曲

※主の家に行こうと言われたとき

私の心は喜びに満ちた
心は喜びに満ち
魂は歌と感謝にあふれ
ほめ歌捧げた
主の家に行こうと言われたとき

導きと盾なる主 力たすけなる
共にいます主に祈ろう
平和と救いの主
栄光と力なる主に
賛美を捧げよう
喜びと感謝 我ら捧げよう
共にいます主に
※くりかえし

○讃美歌537番

- わが主のみまえに よろこびつどいて
うえなきみめぐみ うたいたてまつれ
わが主にならいて ひとをばへだてず
かたみになぐさめ たがいにたすけよ
- わが主のためには その身をわすれて
ちからのかぎりに つかえたてまつれ
わが主は御弟子の 足をもあらいて
しもべのみちをば しめさせたまえり
- わが主をおのれの かしらとあがめて
ひとつとなりにし 友よ、はらからよ
いよいよしたしみ ころをあわせて
わが主の大御代 ことほぎまつれや

アーメン

聖餐曲「主イエスを愛する身こそ幸なれ」D.ウッド

後奏曲「フーガ ホ長調」J.G.ヴァルター

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。